

# 読者のひろば 私もひろびろび



## 行きたいところ ナンバーワンになった梅池

兵庫県加古川市 畝本敬子

1月号から連載が始まった「食べものがたり」。毎号、楽しみで、いま行きたいところナンバーワンです。番外編のカラーもいけれど、白黒の紙面から想像して、いつか実際にこの目で見たいと思っています。そのためにも健康でなくては。4月号の特別企画「食べ方15のポイント」の実践がありませんね。

## 自分のチャンスを待つ 土の微生物 大切にしたい

大分県杵築市 木村テル子

前号の藤井一至さんのインタビューは、とても楽しく読みました。8割ぐらいの微生物は自分のチャンスが来るまで寝ているらしいって、とてもかわいく感じられました。自分のチャンスが来るのを待っている微生物

を、大切にしないといけないですね。

## 土に「分解者」がいて すべての物質は循環する

大阪府枚方市 米田真美

前号のインタビュ欄に登場した藤井一至さん。著書「土 地球最後のナゾ 100億人を養う土壌を求めて」を、ジャケ買いしました。生物では「生産者」「消費者」の話が勉強しませんが、土の中に「分解者」がいて、すべての物質は循環します。土は私たちにとってとても重要だと思います。

「遺伝子組み換え」の表示制度改定と同じく、国産だと誤解を招く「国内製造」表示も問題です。消費者は食品表示の変化が自分たちの不利益になっていることを自覚して、直接話ができる生産者からしか買わないなどの対策が必要だと思います。

## 買ってきたミニトマト 種を残して庭で栽培

大分市 高野典子

結婚して50年、ほぼ毎年、庭にキュウリとトマトを植えています。ここ数年は、サラダ用に買ったミニトマト(アイコ)の種を食べずにまいて、育てています。12月ぐらいまで実がなります。今年は前号で紹介された誘引方法をやってみます。

3月から、庭中にミツバが育っています。毎朝、庭をひと回りすると、両手からあふれるほど収穫できます。こぼれ種で育ってくることも40年です。

## 除草剤を使わない方法 考えなくては

千葉市 長谷部 綽

前号の除草剤グリホサートの特集にあった「中学生の作文から」を、何度も読み返しました。除草剤をこれほど危険とは思わず、長い間、使っていました。畑には農薬はいつさい使わず、もちろん除草剤も使いません。

使うのは主に通路ですが、安

## 食べもの通信読者会のご案内

参加ご希望の方は直接お問い合わせください

郡山市 定例 第4土曜 13～15時  
●連絡先 安川陽子  
TEL 090-9630-3537

食べもの通信 “ママ結いまーる。”  
定例 第3水曜 10～14時  
●連絡先 久保恵子  
TEL&FAX 03-3388-3612

三鷹市 定例 第2金曜 13時半～17時  
三鷹市女性交流室(中央通り)  
●連絡先 白井務江  
TEL&FAX 0422-48-8868



横浜市 NORA食べもの通信読者会  
定例 第2月曜 19～21時  
●連絡先 三好豊  
TEL 045-722-9674

http://nora-yokohama.org  
●連絡先 山下妙子  
TEL 090-9336-6309

福井市 ●連絡先 南陽一郎  
TEL 0776-36-2229

大津市 ●連絡先 藤本明子  
TEL 075-465-5252

京都市 ●連絡先 花岡和子  
TEL&FAX 0774-62-3752

岡山 定例 第1土曜 10～12時  
●連絡先 成田宣子  
TEL&FAX 086-275-4082

北九州 ●連絡先 松井玲子  
TEL 093-651-7050  
FAX 093-651-7075

全国ネット  
メーリングリスト  
『食べもの通信』風ねっと  
●連絡先 山崎万里  
■メールアドレス  
mari@seseragi-s.com

本誌の感想を語り合い、交流する読者会を開きませんか。スタートは2人からでも。家栄研までご相談ください。

易な農作業だったかもしれない。除草剤を使わない方法を考えなくてはと思います。

## みんなが閲覧できるよう 4月号を公共施設に

埼玉県熊谷市 鉢須雅子

私の住む地域には、田園風景が広がっています。米や野菜が栽培され、農家はマスクも防護服も着けずに、頻繁に除草剤をまいています。わが家もいろいろと栽培していますが、どうしても周りから飛散する除草剤は避けられません。

除草剤グリホサートの害について、知らない人がいかに多いか。ぜひ、『食べもの通信』4月号を市役所などの公共施設に置き、みんなが閲覧できるようにしてほしいです。ホームセンターで「人にやさしい除草剤を販売してほしい」と伝えました。

## 体内に蓄積する有害物質 深刻さを可視化してほしい

さいたま市 木村成美

前号の「暮らしのなかの有害物質」に掲載されたりサイクル

ペットボトルの害、怖いですね。私たちの体の中に、どれほど有害物質が蓄積されているのか。人間ドックなどで調べて数値表示されるようになれば深刻さが可視化され、一人ひとりが考えるようになるのではないかと思います。

## 乳酸発酵キャベツで フードロスなし

愛知県春日井市 関口和子

老夫婦2人家族なので、キャベツを買っても使い切れません。でも、乳酸発酵キャベツの作り方(2019年5月号)を読んで以来、キャベツを購入したら数日中に食べるぶんだけしかして洗い、冷蔵庫へ。残りはスライサーで切って、発酵キャベツに入っています。2週間に1個購入していますが、フードロスをみださずにうまくいっています。

## ヒキガエル軍団に災い 自然は厳しい

横浜市 佐久間勇

春にわが家を訪れるようになり4年目のヒキガエル軍団。今

年も21匹を確認しました。しかし、今年は災難が襲い、ついに犠牲者が出ました。

産卵のために集合した無防備なヒキガエルに襲いかかったのは、盗賊よりも残酷なアライグマ。私と共生中で、人に慣れていたシロメダカも金魚も、一網打尽にやられました。そのアライグマは身ごもっていました。彼らも生きるために狩りをしているのです。自然は厳しいですね。

## 野菜嫌いの孫が 卒園式の日に見せた成長

京都府宇治市 山崎映子

4月から小学生になる孫が、卒園式の日にはわが家に来ました。野菜がとても苦手で、ついこの前まで緑の野菜は小さな手でバツをつくり、一口も食べませんでした。

ところがこの日は、お皿に少しのった菜の花のお浸しを、ちよっと苦労していましたが食べて、「ほら、空っぽ」と器を見せてくれました。「ブロッコリーもホウレンソウも食べれる」とうれ

しそつでした。

## これまで本誌で 登場した方々の近況

★写真家の今森光彦さんがいきもの観察会「やあ出会えたね」(6月3日、10月14日)、「里山昆虫教室」(7月24〜26日)を開催。滋賀県大津市仰木の今森さんとおきのフィールドで、昆虫と触れ合います。対象年齢は「観察会」5歳以上、「昆虫教室」6歳以上。詳細は公式サイトイベントページにて。

<https://imamori-satoyama-world.com/event.html>



一番好きな  
時間



投稿歓迎

『食べもの通信』の感想や身近なできごとなど、どしどしお寄せください。掲載させていただいた方には図書カードを進呈します。メールアドレス info@tabemonotuushin.co.jp